

令和3年3月下旬刊行！

鳥取県埋蔵文化財センター刊行図書の御案内

其の壱 「青谷古代山陰道」

【80頁 500円】

令和元年度から試掘調査を実施してきた青谷の古代山陰道。尾根上を400mにわたって縦走する道路跡や、急斜面でつづら折りの道路跡が発見された青谷東側丘陵（養郷新林遺跡、養郷狐谷遺跡、養郷宮之脇遺跡）の発掘調査の概要をまとめた冊子です。

さらに、令和2年11月14日に開催した、特別講演会「青谷の古代山陰道が語るもの」での、大阪大学大学院市大樹教授の講演内容も再構成して収録しています。

其の弐 「戦国の鹿野亀井と狗尸那城」

【98頁 500円】

コンパクトながら技巧を凝らした防御施設、御殿的建物（大型の礎石建物跡）を主郭に備えた狗尸那城。「見て、すごい」を、客観的な測量データを用いて立体的に再構成します。また、「豊臣期から徳川期にかけての竈の居所と行動」として、亀井竈の事績についてまとめました。

特論として、中世城郭研究の第一人者、中井均先生による「中世城郭における礎石建物の発生と展開」、地元の中世史研究者、高橋正弘氏による「二つの鹿野城から『城』を再考する」を収録。

其の参 「鳥取県埋蔵文化財センターのあゆみ 追補」

【21頁 200円】

鳥取県埋蔵文化財センターは令和3（2021）年6月に設立40周年を迎えます。センター設立から38年間の先人たちが掘り出した成果とその労苦の「あゆみ」を『鳥取県埋蔵文化財センターのあゆみ』（令和元年6月刊行）にまとめています。

記念すべき40周年に向け、『鳥取県埋蔵文化財センターのあゆみ』に掲載できなかった、近年の調査研究成果や普及啓発・展示事業などを冊子にまとめました。

其の肆 「鳥取県埋蔵文化財センター 調査研究紀要 12」

【34頁 400円】

埋蔵文化財センター職員他による、県内の遺跡・遺物に関する論考3本を掲載しています。

久保 穰二郎 「因幡国分寺の瓦について」

田中 正利 「会下・郡家遺跡の弥生時代集落に関する若干の考察」

梅村 大輔 「青谷横木遺跡出土の付札状木製品について」

其の伍 「山田出雲守の居所と行動から因伯の戦国史を読み解く」

付 南条小鴨元清別人説再考 / 付 山田出雲守複数人説再考

令和3年2月21日（日）に開催したミニシンポジウムの主要な論点について、その資料と、当日の記録をまとめて掲載しています。

【54頁 400円】



鳥取県埋蔵文化財センター

680-0151 鳥取市国府町宮下 1260

電話 0857-27-6711 FAX 0857-27-6712

E-mail maibuncenter@pref.tottori.lg.jp

ホームページ <https://www.pref.tottori.lg.jp/maibun/>

Facebook <https://www.facebook.com/tottorimaibun>